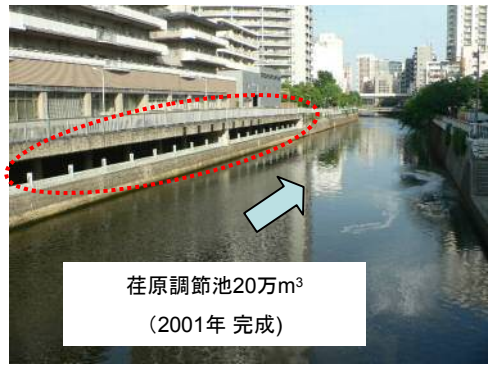
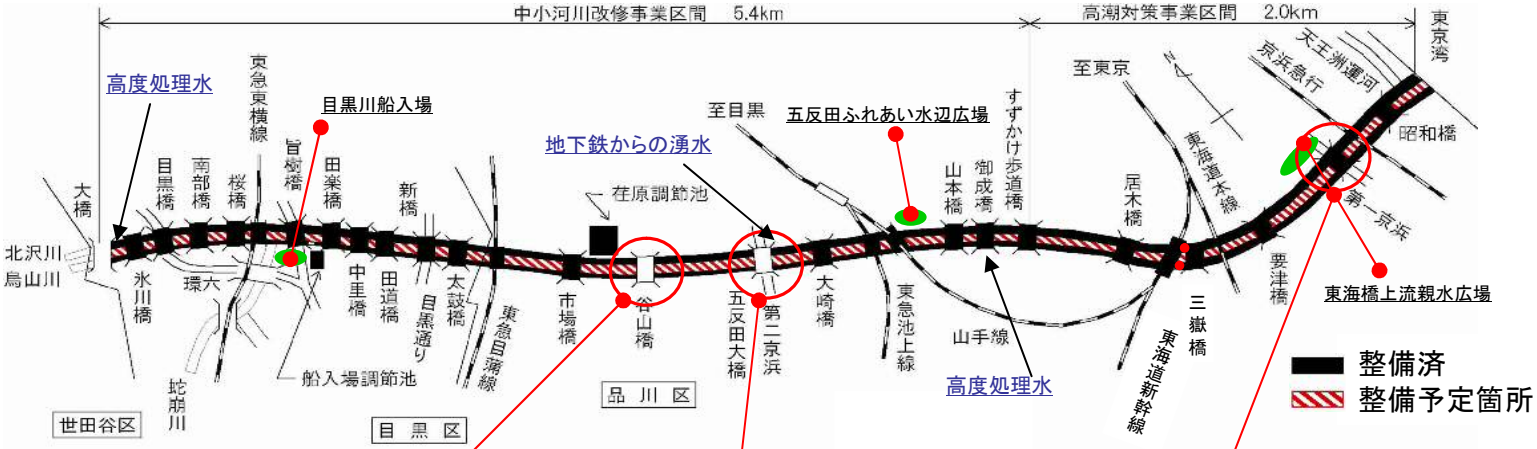
目黒川整備事業の概要

資料4

流域及び河川の現況

目黒川は主に世田谷区、目黒区、品川区にまたがる流域面積45．8㎢、延長8．0km（うち事業区間は延長7．4km）の二級河川である。目黒川は烏山川と北沢川が合流する世田谷区池尻三丁目を上流端とし、世田谷区、目黒区を東流し、途中上目黒一丁目地先で支川蛇崩川を合わせ品川区東品川一丁目地先で東京湾に注ぐ。上流部及び支川の烏山川、北沢川、蛇崩川は暗渠化され、下水道幹線となっている。

平成25年度整備予定

○地盤改良工事（谷山橋）
○河床掘削（河口から東海道本線1.1km）
○防潮堤建設工事（東海道新幹線下流部）